

7. むすび

「グループ経営構想V ～限りなき前進～」は、決してトップダウンではなく、社員個々の努力の積み重ねによって築き上げる、グループで働く社員一人ひとりの目標です。「究極の安全」、「サービス品質の改革」、「地域との連携強化」、「技術革新」、「グローバル化」、「企業風土改革」など、あらゆる分野において、失敗を恐れず、「まず、やってみよう」という挑戦の志が何より重要です。私たちは、グループ全社員がそれぞれの立場で「自ら考え、自ら行動する」ことで、JR東日本グループの「進化」が実現できると確信しています。

目下の経営環境を見渡すと、将来のエネルギー政策のあり方や原発事故収束の行方、わが国経済社会の不確実性など、多くの課題が山積しています。しかし、当社グループは、こうした逆風下にあっても、グループの総力を結集し、着実かつ力強く歩み続けます。固定観念に捉われず、幅広い視野を持つとともに、常に革新を志向し挑み続け、「無限の可能性」を追求していきます。

新たな未来を切り拓く力は私たち自身にあります ～Ever Onward～

安全綱領

1. 安全は輸送業務の最大の使命である。
2. 安全の確保は、規程の遵守及び執務の厳正から始まり、不断の修練によって築きあげられる。
3. 確認の励行と連絡の徹底は、安全の確保に最も大切である。
4. 安全の確保のためには、職責をこえて一致協力しなければならない。
5. 疑わしいときは、あわてず、自ら考えて、最も安全と認められるみちを採らなければならない。

将来の見通しの記述について

この資料に記載されているJR東日本グループの現在の計画、戦略、確信などのうち、過去の事実以外のものはJR東日本グループの将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の仮定と確信に基づくものであります。これらの将来見通しの記述は、既に知られているリスク、知られていないリスクや不確かさ、その他の要因などを含み、JR東日本グループの実際の経営成績、業績などはこの資料に記載した見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には以下のようなものなどが含まれます。

- ① 鉄道事業の現在の利用者数を維持または増加させるJR東日本グループの能力
- ② 鉄道事業その他の事業の収益性を改善するJR東日本グループの能力
- ③ 鉄道事業以外の事業を拡大するJR東日本グループの能力
- ④ 日本全体の経済情勢や法規制、日本政府の政策など